

2021年9月17日

## 株式会社カノークスと「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、株式会社カノークス（代表取締役社長 <sup>たかぎ きよひで</sup> 高木 清秀）は、本商品を発行いたしました。

株式会社カノークスは、1897年に創業し、「一. 社業を通じて社会に貢献せん」「二. 和をもって最善をつくさん」「三. 善意と良識を身上として日々を全うせん」を企業理念に掲げ、鉄鋼商一筋で日本社会の発展に資する企業活動を行っています。124年の信頼という財産を未来へ、更なる進化を掲げています。

また2020年4月1日にはサステナビリティ推進室を新設し、株式会社カノークスが向かうべきSDGsのゴールを選定しました。役職員全員参加のプロジェクトとして位置付け、今回の ESG 評価の取得をきっかけに、今後、更なる取組強化を図っています。

### 【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

#### ✓ 環境（E）について

- ① 組織全体を対象として、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築しており、特定した環境関連の機会・リスクに対する対応策の検討、および対応策の効果把握についても年1回のISOマネジメントレビューにおいて全社単位で実施されている点。
- ② サプライチェーンにおける環境負荷軽減への取組に関しても、直接的な環境側面だけでなく、事業活動から生まれる環境への間接負荷の低減を目指されており、自動車の軽量化に向けて鋼管類および高抗張力鋼板の販売・加工に投資強化されると共に、リサイクル可能で耐久性のある鉄鋼材料の積極的な販売・普及に取り組んでいる点。

#### ✓ 社会（S）について

- ① 従業員の多様性に関する指標として、女性従業員比率を公表し、従業員の多様性を促進する方針（カノークスの人事理念）を策定している点。
- ② 地域社会貢献を経営方針の重要項目に位置付け、全国の拠点、工場において地域活動、雇用促進、岩手では冬季の近隣除雪作業など地道ながら持続的な地域社会との共生の取組を展開されている点。

✓ ガバナンス (G) について

- ① カノークスグループ行動規範を策定されており、また行動規範について記したハンドブックを全従業員に対して配布することで行動規範の内容を従業員に周知している点。
- ② コンプライアンス違反についての社内通報体制として、所属長への報告経路とは別に社外弁護士宛内部通報窓口を設置しており、また 3 か月に一度開催のコンプライアンス委員会にて、社内通報制度で通報された内容に係る情報共有が行われている点。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上